

教科名	国 語	科目名	国語表現	2 単位	対 象	3 学年（特進文系）
-----	-----	-----	------	------	-----	------------

目 標	1. 国語で適切に表現し的確に理解する能力を育成する。 2. 自分の立場や考えを相手に伝え、また相手の考えを尊重し理解する能力を高める。 3. 言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育成する。
-----	--

教 材	期	月	時数	学 習 内 容
オリエンテーション（年間計画説明） 小論文Ⅰ ・「意見を論理的に述べる」 ・「セルフ・ディベート」 ・「文章の型—構成の方法」 ・「構成ノート」 ・「テーマ型小論文の実際」 ・「文章のリフォーム—推敲」	1	4	1 4 4 4 4 4	○オリエンテーション（年間計画説明） ○与えられた論題から適切な問いを見つける方法を学ぶ。 ○異論や反論を想定した意見提示の方法として紙上におけるディベートを行い、防衛力と説得力のある論理展開の仕方を学ぶ。 ○小論文の「型」としての三段構成の特徴を理解する。 ○テーマ型小論文の特徴を知り、問とその答えと根拠に着目しながら執筆する。 ○他者に理解されやすい文章の書き方を学ぶ。
小論文Ⅱ ・「要約の方法」 ・「課題文から問いを見つける」 「課題文型小論文の実際」 ・「データを読む」 「データ型小論文の実際」 論文作成法 ・「論文作成の準備」 ・「論文作成の実際」 プレゼンテーションの方法 ・「プレゼンテーションの実際」 ・「プレゼンテーションの技術」 ・「スライドを使ったプレゼンテーション」	2	9	4 4 5 5 4 4 4	○要約する際の基本的な観点を理解し、的確な読解力と適切な表現力を身につける。 ○課題文の特徴を知り、設問の要求を正確に読むことや、要約、引用の仕方を学ぶ。 ○データなどの読み方を理解し、小論文を構成する要素を取り出し、実際の執筆に役立てる。 ○論文作成の手順と方法を学び、発展的な論理的文章力を身につける。 ○話し言葉と書き言葉、言語と非言語の違いに気づき、場や道具などがコミュニケーションの重要な要素であるという認識を育てる。
面接 ・「自己を分析する」 ・「質問と応答のレッスン」 ・「模擬面接をする」 話し合いの方法 ・「目的に応じた話し合い」 ・「意志決定・合意形成のための会議」	3	1	5 5 5	○自己分析をとおして自分を理解し、自己アピールを作成する。 ○実際の面接の場面を想定し、心構えと技術を習得する。 ○模擬面接をとおして、面接の基本事項を学び、実践力を身につける。 ○目的に応じた話し合いの形式や手法を学び、会議の方法とルールを理解する。

評価の観点・方法	<p>知識偏重ではなく、表現部分に重きをおいて評価を行う。よって、筆記テストのみの評価に終わるのではなく、表現された作品を①資料収集、②作品内容、③発表等の観点から総合的に判断するものとする。</p>
----------	--

各学期のテスト・課題・提出物等	1 学期	テスト	「意見を論理的に述べる」～「文章のリフォーム—推敲」の演習
		課題	800字程度の小論文・レポート
		提出物	コラム
	2 学期	テスト	「要約」～「プレゼンテーション」の演習
		課題	800字程度の小論文・レポート
		提出物	プレゼンテーションのスライド
	3 学期	テスト	「面接の質問と応答」～「話し合いの方法」の演習
		課題	800字程度の自己アピール文
		提出物	内容をまとめたレポート

留意事項	表現がともなう活動が主となるため、その分他者への配慮が大変大切であることを認識させる
------	--